

GOTO ステートメント番号 ;  
GO TO ステートメント番号 ;

---

## 機能 :

GOTO は TSP プログラムの中で制御を移す方法で、実行する行の順番を替えます。しかしながら、最近のプログラム技術としては GOTO はプログラムを非常に読みにくくするものとして、できるだけ使わないことが望ましいとされています。TSP では GOTO に代わりうるものとして DO ループ機能や、DO;...ENDDO; ブロックと一緒に用いる IF-THEN-ELSE の機能がついています。

## 使用法:

GOTO は GOTO に続いてプログラム中どこかで定義されている行番号を指定しなければいけません。この様な指定の結果、プログラムの実行は直接その行に移動します。しかしながら、GOTO によってデータ部に移動することはできません。データ部に移動したい場合には、LOAD を使って下さい。

## 例:

```
IF A; THEN ; GO TO 100;  
    B=K*K;  
    GO TO 200 ;  
100 B=K*K*10000;  
200 OLSQ Y C B ;
```

この例では GOTO はプログラムを 2 つの部分に分割しています。一方は A が正しいときに実行し、他方は A が正しくないときに実行されます。同じ内容のプログラムは、IF-THEN-ELSE のコマンドを用いても行えます。

```
IF A ; THEN ;  
    B=K*K*10000;  
ELSE ;  
    B=K*K ;  
OLSQ Y C B;
```